

# 国語

## 出題の傾向

今年度初めて「適性検査型入試」を1次Bで導入しました。【一】では「お年寄りとのふれあい」をテーマに家庭での会話文、【二】では「植物の不思議な生き方」についての説明文を読んで、後の設問に答える形式となっています。二題とも八十文字以内でまとめる問題を出題しています。

## 2018 今年度の出題と解説

本校では、今年度初めて「適性検査型」の入試を実施しました。この入試では、好きなことを自由に書けばよいというものではありません。みなさんの力をきちんとはかるねらいがある試験になっています。その力とは、次のようなものです。

- 文章の内容を論理的に理解する力。
- 出題の意図を理解し、文脈などから適切な解答の方向性を判断する力。
- 出題内容に対して、適切な言葉を選んで、解答を作成する力。

つまり、論理的な思考力や判断力、さらには表現力が大切になります。これらの力は、「二十一世紀型の能力」と言われ、これから日本の教育界が考える新しいタイプの学力です。

よって、「適性検査型」の入試では、正しい解答は従来の入学試験のように、一つではありません。ただし、文脈内容を正確にとらえ、正しく答えていないと、いくらきれいな文章を書いても得点にはなりません。採点については客観的な視点で行われ、採点基準は、論理的な根拠に基づいています。そこを理解して解答することが「適性検査型」の入試には求められています。この後、今回の「適性検査型」の入試を通して、どのような点に気をつけなければならなかったのかについて触れておきます。

### 一

- 問1 a「施設」の「施」・b「補助」の「ころもへん」が正しく書けていない人が多くいました。
- 問2 本文三行目の母の言葉に、「家族のあり方も変わってきて」「お年寄りのお世話を家族だけがするのは本当に大変」とあります。この話の内容をヒントに答えましょう。自分の考えを自由に書いている場合は、点数になりません。
- 問3 似たような意味の四字熟語は他にもありますが、「四字とも異なる漢字」という条件に注意して答える必要があります。「十人十色」・「多種多様」・「三者三様」などでは、減点となります。
- 問4 母の質問に対して、良太は本文十四行目からの会話の中で、「一人一人違う人格だと理解しておく」ことや「相手のペースを尊重する」ことを挙げています。そして、三つ目の「自分の考えだけで何でもかんでも助けない」ことについては、直後に父が取り上げ、くわしく説明しています。
- 問5 **A** の三行後の父が話す内容を読めば、解答できる問題です。
- 問6 「自分で考えて」とあるので、本文中の表現にこだわる必要はありません。良太は会話の冒頭で、「なるほど」とうなずいているところから、直前の父や母のセリフの内容を受けて、それに同意した発言であることがわかります。直前にある父の会話の中の「自己満足」などを手がかりに考えましょう。「自分が正しいと思う」や「自分がされると助かる」などについても、正解としました。
- 問7 自分の意見をまとめる設問です。注意する点は、「具体例を挙げる」ということ。具体的な事例が書かれていないものについては減点しました。また、設問には「他者と接するうえで」とあるので、対象を老人など特定の相手にしぼった解答については、減点となります。

### 二

- 問1 「冬越しのスタイル」について、「具体的に」と指示があるので、機能的な面と、外形的な面の両方に関する記述が必要です。どちらか一方しか書かれていない場合は、減点としました。「地面にぴったりとつけている」「放射状」という外形的な特徴に対応して、それぞれ機能的な特徴があることに注意することが大切です。
- 問2 設問の「他の植物との関係に注目して」とある点に注意しましょう。ロゼットの利点としていくら正しい内容であっても、他の植物と比較した形で答えられていないものについては減点となります。なお、ロゼットの利点については、「他の植物が休んでいる冬でも光合成を行える」ので、「春には他の植物よりも早く花を咲かせることができる」点であることがわかります。
- (解答例)と(誤答例)を以下に示しますので、参考にしてください。
- (解答例)
- ・他の植物が地面の下で休んでいる間も地表で葉を広げ、栄養を蓄えながら冬を過ごすことで、春が来たときには他の植物よりも早く花を咲かせることができる点。
- (誤答例)
- ・冬の間も光合成をして地下の根にコツコツとエネルギーを蓄え、春の訪れとともにその蓄えた栄養分を使って、一気に花を咲かせることができる点。
- ※ なお、解説の内容とは別に、誤字脱字などのミスなどについては、減点対象としました。

## 対策と アドバイス

作文記述の解答を上手に書くためのコツは、文章を書く前に、どういった内容をどの順番で書いていくか、どの内容は絶対に書かなければならないかを、一度問題用紙の余白などにまとめてみて、考えがまとまってから書くことです。

また、適性検査の問題では、社会問題をあつかうことが多くあります。どんな問題にも幅広く対処できるように、日ごろからニュースや新聞、本などを見て、世の中でどんなことが今問題になっているのか、どんな取り組みが行われているのか、などを知っておくことが大切です。